

横浜市情報提供資料

平成 29 年 3 月 24 日
教育委員会事務局指導部

本日（3月24日）、被災避難児童に対するいじめについて、お子様、ご両親、代理人弁護士にお会いし、謝罪をいたしました。

【出席者】

当時の学校職員：校長 副校長 4年担任 5年担任

当時の学校教育事務所職員：学校教育事務所長

【謝罪の内容】

○教育委員会、学校の対応が遅れ、不十分であったこと、お子様やご両親の気持ちを受け止められずに長い間つらい思いをさせてしまったこと、また謝罪が遅れたことについて、お詫び申し上げました。

○お子様、保護者からは、当時、学校や教育事務所がなぜきちんと対応してくれなかったのかという問いかけがありました。

○問いかけに対し、それぞれの出席者が、当時どのように考え、どのように動いていたか、振り返って反省すべきことは何かをお話しました。

担任からは、お子様のSOSに気づけず、傷つけてしまったことなど、

副校長からはいじめの定義理解が不十分でいじめであることを認識せず、お子様の支援ができなかったことなど、

事務所長からは、保護者の相談に対し積極的に解決に向けて動かなかつたために、事態を長引かせてしまったことなどをあらためて謝罪しました。

ご両親からは、二度と同じことが起きないように、再発防止にきちんと取り組んでほしいというお気持ちを伝えていただきましたので、教育委員会、学校が一丸となって、今後の再発防止に取り組んでいきたいと考えております。

お問合せ先		
教育委員会事務局健康教育・人権教育担当部長	伊東 裕子	Tel 045-671-3229